



# 日進中だより

学ぶ生徒 誠実な生徒 鍛える生徒

令和6年 5月 2日

第 2 号

さいたま市立日進中学校

TEL 048-663-1251

FAX 048-663-0834

## 『やる気スイッチ』

校長 小熊 誠

日進の朝は、生徒たちの気持ちの良いあいさつで始まります。私は今、毎朝正門で生徒たちを迎えています。マスクをしている生徒も多いですが、マスク越しにもわかる笑顔で、目と目をしっかりと合わせながら、あいさつを交わします。「日進ロード」が笑顔とあいさつで溢れ、なんだか、爽やかな気持ちになり、元気が湧き、毎日私の「やる気スイッチ」が「オン」になります。今月はこの「スイッチ」についてお話します。



令和6年度が始まり、約1ヶ月が経ちました。新しい学年・クラス・担任・教科・部活等、今までとは違う環境の中、今までとは違う動きが始まりました。ワクワク感がいっぱい、次に起こることが楽しみでしかたなく、早く動きたくてウズウズしている生徒たちが多数いる中、一方では、新しい環境になじめず、不安な気持ちが体全体を包み込み、一步前に踏み出せない生徒たちもいます。そんな一步を踏み出すために大切なことがあります。それは、「やる気スイッチ」を「オン」にすることです。では、どうすれば「オン」にできるのか。正直それは、自分でスイッチを「オン」にするしかありません。自分を変えられるのは、自分でしかないのです。自分で一步を踏み出す、勇気とやる気を出すしかないのです。それは、自分の「考え方」を変えることから始まります。そして、何しろ動き出すこと、いかに行動できるか、それが分かれ道となります。すなわち、自分の考えで燃えられる「自然人間」になることです。しかし、残念ながら、自分の考えだけでは、なかなか「オン」にできない生徒たちもいます。そこで、保護者・地域の皆様、私たち「脇役」の出番です。私たちの役目は、私たちの「主役」である生徒たちの「考え方」を変える、一步前に踏み出す勇気を与えることです。「主役」に寄り添い、理解し、輝く環境を整え、やる気を出させること。それが私たち「脇役」の責務であり、腕の見せ所です。たとえ、「主役」が「自然人間」になれなくとも、私たち「脇役」によって変わった「他燃人間」であっても、「考え方」が変われば、準備万端です。大事なのは、「主役」が、気持ち良く、自分の意志で、「やる気スイッチ」を「オン」にする場面と、劇場を用意することです。すなわち、それが令和6年度「日進劇場」です。幕はすでに上がっています。後は、何処で、「主役」「脇役」皆で、日進の「やる気スイッチ」を「オン」にするかです。これから待ち受けるあらゆる場面において、「主役」がさらに輝き、「日進劇場」が盛り上がり、進化していくことを楽しみにしています。皆様もどうぞ御期待ください。

最後に、「考え方」を変え、「やる気スイッチ」を「オン」にしたときに起きる変化で、私の大好きな言葉を右に載せます。

「スイッチオン」で人生が変わります。

考えが変われば 行動が変わる！  
行動が変われば 習慣が変わる！  
習慣が変われば 性格が変わる！  
性格が変われば 人格が変わる！  
人格が変われば 運命が変わる！  
運命が変われば 人生が変わる！

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校